

# 事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	都市整備部下水道課		■担当係	建設係
■評価事業名称	公共下水道管路長寿命化計画策定事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	070500 - 625	■会計区分	下水道事業会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	05 誰もが快適に暮らし続けられるまちづくり		
	■基本施策	02 暮らしを支える上下水道の充実		
	■施策	02 適正な汚水処理の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称	下水道長寿命化支援制度			
■関連計画の名称	北上公共下水道事業計画			
■事業の目的と概要	<p>【目的】公共下水道管路施設管理計画基本構想に基づいた管路の調査を行い、劣化度の高い管路について、今後5年々年の長寿命化計画を国に申請し、補助事業として採択を得ようとするものです。</p> <p>【概要】管路カメラ調査、長寿命化計画策定。</p>			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成27年度事業計画	平成27年度事業量実績
01	北上公共下水道長寿命化計画策定	北上公共下水道事業計画区域内の市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共下水道管路カメラ調査業務委託 L=19km</li> <li>公共下水道管路長寿命化計画策定業務委託 一式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共下水道管路カメラ調査 L=8km</li> </ul>

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費				15,192	
人件費				2,560	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				17,752	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	管路カメラ調査延長				8km	管路カメラ調査を行った延長
02	長寿命化計画策定延長				0km	長寿命化計画策定を行った延長

# 事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

<p>■目標達成状況</p> <p><input type="radio"/> A. 順調</p> <p><input checked="" type="radio"/> B. 概ね順調</p> <p><input type="radio"/> C. 遅れている</p>	<p>達成状況の分析</p> <p>国交省が定めている処分制限年数が経過した管渠は全てカメラ調査を行った。管渠の老朽度合は比較的健全な状態で、早急に更新が必要な箇所は少なかったが、マンホール蓋に更新の必要があるものがあつた。</p>	<p>問題点・課題等</p> <p>国庫補助が充当されず計画策定に至っていない。長寿命化支援制度が廃止されたため、今後はストックマネジメント支援事業に移行する。</p>
<p>1. 直接的な受益者の範囲</p> <p><input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ</p> <p><input checked="" type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ</p> <p><input type="radio"/> 特定少数に限定される</p>	<p>2. 事業廃止の影響</p> <p><input checked="" type="radio"/> 大きな不利益やリスクが生じる</p> <p><input type="radio"/> ある程度の不利益やリスクが生じる</p> <p><input type="radio"/> 不利益やリスクは小さい</p>	<p>3. 国・県・民間との競合関係の有無</p> <p><input checked="" type="radio"/> 類似の事業はない</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業があり競合する</p>
<p>4. 事業へのニーズの変化</p> <p><input type="radio"/> ニーズが高まっている</p> <p><input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない</p> <p><input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない</p>	<p>5. 施策の改善需要度(市民意識調査)</p> <p><input type="radio"/> 順位が高い</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が中程度</p> <p><input type="radio"/> 順位が低い</p>	<p>6. 施策の優先度(市民意識調査)</p> <p><input type="radio"/> 順位が高い</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が中程度</p> <p><input type="radio"/> 順位が低い</p>
<p>7. 他市町村に比較しての優位性</p> <p><input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である</p> <p><input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である</p> <p><input type="radio"/> 遅れている事業である</p>	<p>8. 実施主体の代替性</p> <p><input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい</p> <p><input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能</p> <p><input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能</p>	<p>9. 経済性・効率性の向上</p> <p><input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい</p> <p><input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能</p> <p><input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい</p>
<p>■事業の見直し方策</p> <p>老朽管渠の更新計画は、下水道事業の継続のために必要であり、道路の陥没などのリスク回避の観点からも必要です。国交省の方向変換により、今後はストックマネジメント支援制度に移行します。</p>		<p>■今後の方向性</p> <p><input type="radio"/> I. 拡充</p> <p><input checked="" type="radio"/> II. 継続</p> <p><input type="radio"/> III. 縮小</p> <p><input type="radio"/> IV. 廃止・休止</p> <p><input type="radio"/> V. 完了</p>